

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」女池神明校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		適切なスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		・適切な人数を配置しています。	・いざという時のために、余裕のある職員体制になると良いと感じます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・支援スペースはパーティションで区切ることで分かりやすくなっています。 ・玄関前にはバリアフリー化はできていませんが、室内はポップなどわかりやすくなっています。 ・支援スペースは、できる限りシンプルに、プログラムは視覚的に提示しています。 ・バリアフリー化は難しい面があります。 	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃を行っています。活動内容に応じてスペースを確保しています。 ・活動に合わせてパーティション、机を移動し、空間を確保しています。 ・教室内のレイアウトを見直し、半個室と真ん中のフロアで、静と動の活動の切り替えをしやすいようにしました。 	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施しています。 ・web での回答も併用し、多くの保護者様からの意向をいただけるよう工夫しています。 	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年 HP で公開しています。 ・ホームページで公開しています。 	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		職員と利用者の二者評価をおこなっています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回のペースで研修が開催されています。 ・事業所内、外の研修に積極的に参加しています。 	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングと同時にアセスメントの作成も行っています。		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内で統一したものを使用しています。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子さんごとに必要な項目を選択し、具体的な内容を設定しています。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援になるように努めています。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		必要に応じ職員間で話し合いながら立案を行っています。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・職員間で話し合いながらマンネリ化しないように工夫しています。 ・数名の指導員でひとりのお子様を担当しており、プログラムの固定化をさせています。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			今後、必要に応じて集団活動を計画に盛り込んでいく必要があるかと感じます。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼を実施して確認を行っています。 ・毎朝の打ち合わせで確認しています。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・職員間で引継ぎを行い情報共有をしています。 ・支援当日ではなく別日に共有しています。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・支援後3日以内の記録作成を心がけています。		
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6カ月に一度のモニタリングを実施している。		
	関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児発管と必要に応じて指導員が参画することがあります。職員体制を整えて担当者が出席できると良いと感じます。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			母子保健や子育て支援との連携はまだ不十分です。今後外部機関との連携に努めます。
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在医療的ケアが必要なお子さんはいません。		

の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要なお子さんはいません。	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> 園の見学や園側からの見学の受け入れを行いました 利用者が通っている園を訪問することで関係づくり、園での様子の把握を行っています。 園見学に行っていました。 	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて情報提供書の作成を行っています。 情報提供シートを活用しています。 	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他の児童発達支援センターが主催の研修に参加しました。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		一緒に活動する機会は設けていません。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎支援後に保護者と話をする時間があります。 フィードバック時にご家庭での様子を聞き共通理解を持てるようにしています。 	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	<ul style="list-style-type: none"> イベントでペアレント・トレーニングを行いました。 	・今後計画できると良いと考えています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っています。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画を示しながら児発管が保護者に説明しサインをいただいています。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎支援後に保護者と話をする時間があります。必要に応じて事業所内相談も実施しています。	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		まだ不十分です。今後検討していきたいと思います。
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	○		必要に応じて事業所内相談を実施しています。	

	相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している					
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてLINEで活動を伝えるなどしています。 ・LINE、Instagramで発信しています。 ・Instagramを活用しています。 		
③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付き書庫に保管しています。 ・鍵付きロッカーに保管を徹底しています。 		
③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ジェスチャー等の言語以外でのコミュニケーションも図っています。		
④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		小集団イベントでご利用者のご兄弟もお招きしました。		
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルでファイリングされています。 ・様々な想定訓練を月に1回行っています。マニュアル類は一部玄関に掲示しています。 	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回実施しています。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートに記載の欄があり、把握して支援しています。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事の提供をしていません。対象者はいません。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起きた際には報告書を作成し職員で周知しています。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を実施しました。 ・虐待防止研修を全職員確実に受講しています。 	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		個別支援計画に記載があります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」女池神明校

保護者等数（児童数）：10 回収数：6 割合：60%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	0	身体を動かすこともできている。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	0	大丈夫です。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	0	0	ちゃんと頂いています。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	1	されています。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	0	0	0	工夫されています。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	0	1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0	されました。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	1	2		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	0	・行われています。 ・丁寧にその日やった事などを教えてもらえてありがたい。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	0	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	1	大丈夫です。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	0	0	2		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0	・すごく楽しみにしています。 ・子供は毎回楽しみにしています。先生方の雰囲気もとても良くて話しやすい方ばかりで感謝しています。下のの子がいることも配慮して頂き、一緒にイベントに参加させてもらったこともあり、感謝です。こちらに通った事で就学前の不安も減ったと思います。あ	

							りがとうござい ます。	
㊸	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・満足していま す。 ・小学校入学に 向けて、家庭と 連携して必要な 指導をしていた だいでると思っ ています。今後 とも宜しくお願 いいたします。 ・毎回楽しんで 支援を受けてい ます。お陰様 で、以前に比 べ、切り替えが うまくなってき たように思いま す。今後もどう ぞよろしくお願 いします。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。